

# リレーショナル化学災害データベース (RISCAD)と事故分析手法PFA®

## 過去の事故に学ぶ

化学物質関連の事故防止と産業保安の向上のために、化学物質を取り扱う利用者が、過去の事故と同様の事故を繰り返さないために役立つ情報の提供を目的としています。利用者が事故を検索しやすいように、全ての事例を工程、装置などの階層化されたキーワードで分類し、化学物質の混合危険性、可燃性ガスの爆発限界などの危険性情報を提供しています。主要な事故に関しては、当グループで開発した**事故分析手法PFA**(Progress Flow Analysis)によって分析した事故進展フロー図を収録し、事故を容易に理解できるようにしており、事故事例教育にも利用可能です。



経済産業省所管の火薬類、高圧ガス関連の事故、その他の化学物質関連の国内外の事故を幅広く収録しています。

- ・事例収録件数：7,000件以上
- ・事例収録期間：1949年-2017年（更新中）

リレーショナル化学災害データベースは、こちらから**登録不要で無料**でどなたでもすぐに利用できます。

<https://riscad.aist-riss.jp>

リスクヤド  
RISCADの検索画面

## 事故情報の活用

事故情報の活用のために、事故を時系列で整理し、問題のあった事象から原因を抽出する**事故分析手法PFA**を開発しました。さらに、グループで事故分析手法PFAを実施することにより、他人の知識や経験を共有、継承し、個人や組織の安全意識を高め、産業保安を向上する手法を検討しています。

### 事故進展フロー図の様式

- ・産総研知財管理番号：「リレーショナル化学災害データベース」  
H17PRO-320  
「事故分析手法PFAツール」  
H24PRO-1423
- ・「事故分析手法PFA」、商標登録第5580785号

